

市町村指定文化財取材票<表>

取材日	2023年	1月	20日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	神野	垣内	久門	島田	
取材対象先	大和郡山市：小泉神社の女神像				

所在地	大和郡山市小泉町1451				
所有者(取材対応者)名	と美川勉宮司(個人情報守秘)		連絡先 0743-53-0233		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：小泉神社				
市町村指定文化財	彫刻	1軀	女神像 1984(昭和59)年4月5日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	和装の衣服や肩を覆う垂髪は簡潔に刻み、顔面は女神の威容を強調し、平安時代後半の作であることを示している。				

文化財の状況

防火対策	設備・対策・点検・通知方法など		記入者の感想		
	女神像は土蔵に安置されている。消火器、火災報知機、避雷針は設置されていない。		土蔵内に漏電につながる電気設備等はなく、火元となるものもないので現状で良いと思われる。		
獣害対策	被害の有無、対策など		記入者の感想		
	土蔵のため不要。		特になし。		
管理者の全体的要望・提案など	特になし。				

取材を終えて感じた文化財保護状況の全体的今後の課題(修復、維持、管理・環境など)

女神像を納めている櫃(ひつ)の底が抜けたため折敷で代用している。新しい収納箱が必要と思われる。

(注) 宮司の姓のと美川の「と」は王偏に登山の登

市町村指定文化財取材票《裏》				
取材日	2023年	1月	20日	(記入者) 垣内博久
取材参加者	神野	垣内	久門	島田
取材対象先	大和郡山市：小泉神社の女神像			

〈写真掲載許可済み〉

文化財指定名 女神像	
女神像	女神像（後ろ姿）
	
女神像（左後方に櫃）	女神像を収蔵する土蔵
	
文化財の由緒・説明板の有無など	記入者の感想
<p>像は一木（材質不明）で平安時代の作といわれている。四面に着物の裾を表現した部分があったそう。本来彩色が施されており、一部に髪黒、衣服の赤や緑、下塗りの胡粉の白がかすかに見て取れる。もともとは梅檀木（せんだんのき）と呼ばれた地域にあった小社にまつられていたものを1912（明治45）年に小泉神社に合祀された。女神像の説明板等はない。</p>	<p>像は欠けた部分はあるがやさしい顔をされていた。もう少し来歴が判れば面白いと思う。神社は立派な春日造りの檜皮葺の本殿もあり、土蔵の中には彩色の残った木造の狛犬等々興味深い物が多い。今回の調査対象ではないが重要文化財の本殿には火災報知機があるが、神社の近くの宮司宅までは若干の距離がある。消火ホースから消火栓まで30m、本殿まで30mあり、消火開始までに相当の時間を要する。</p>